

絵本とはどのようなメディアなのかー語りの技法を知るー

今田 由香

【講義の概要】

みなさまにとって、絵本とはどのようなものですか。「子どもが楽しむ本」「人の成長に寄り添う本」「平明な文章と美しい絵で語る本」「大きくて薄い本」など、それぞれに絵本に対するイメージや概念をおもちのことと思います。この講義では、物語るメディアとして、絵本の語り方に注目します。色、構図、余白、判型、構成、素材などを物語表現に用いた作品を紹介しながら、絵本における語りの技法の多様性を確認するとともに、絵本の読書がもたらす体験についても考えてみたいと思います。

【講義の構成】

I 絵本とはどのようなメディアなのか

バーバラ・ベイダーの定義をもとに、絵本というメディアを多角的にみつめます。

A picturebook is text, illustrations, total design; an item of manufacture and a commercial product; a social, cultural, historical document; and foremost, an experience for a child.

As an art form, it hinges on the interdependence of pictures and words, on the simultaneous display of two facing pages, and on the drama of the turning of the page.

On its own terms its possibilities are limitless.

Barbara Bader, *American Picturebooks from Noah's Ark to the Beast Within*, Macmillan, 1976.

II 絵本でどのように物語が語られてきたのか

1 登場の順番

平山和子『くだもの』福音館書店, 1981. (「こどものとも年少版」1979年7月号)

2 余白の変化が生み出すドラマ

モーリス・センダック『かいじゅうたちのいるところ』神宮輝夫 訳, 富山房, 1975.

3 視界の変化による読書体験

ユリー・シュルヴィッツ『よあけ』瀬田貞二 訳, 福音館書店, 1977.

みやこしあきこ『ちいさなトガリネズミ』偕成社, 2022.

4 色の表現

ルース・クラウド 文, マーク・シーモント 絵『はなをくんくん』きじまはじめ 訳, 福音館書店, 1967.

湯本香樹実 文, 酒井駒子 絵『くまとやまねこ』河出書房新社, 2008.

5 開き方 / めくる方向 の違いが異なる空間や体験を生み出す

岩井俊雄『100かいだてのいえ』偕成社, 2008.

岩井俊雄『ちか100かいだてのいえ』偕成社, 2009.

スージー・リー『なみ』講談社, 2009.

スージー・リー『かげ』講談社, 2010.

Suzy Lee, Mirror, Corraini, 2003.

6 判型の意味

ビアトリクス・ポター『ピーターラビットのおはなし』いしいももこ 訳, 福音館書店, 1971.

ショーン・タン『アライバル』河出書房新社, 2011.

7 欠如の表現

ショーン・タン『ロスト・シング』岸本佐知子訳, 河出書房新社, 2012.

8 テーマと語り方

竹山美奈子 文, 三木葉苗 絵『すずちゃんののうみそ』三木咲良 題字, 宇野洋太 監修, 岩崎書店, 2018.

中山千夏 文, 和田誠 絵『どんなかんじかなあ』自由国民社, 2005.

長谷川義史『ぼくがラーメンたべてるとき』教育画劇, 2007.

Ⅲ 絵本と物語経験

ここまでの講義を振り返り、絵本が読者にもたらす物語経験について考えます。